Rotary
国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ
インスピレーションになろう

Weekly Report

2018~2019 年度　第 53 期会長テーマ

『未来に向けて』

例会日　毎週 木曜日
例会場　産業文化センター
事務局　多治見市新町 1-23-4F
ＴＥＬ　0572-25-5100
ＦＡＸ　0572-25-5101
Email　n-rc@joy.ocn.ne.jp
Ｈ　Ｐ　http://tajiminishi.jimdo.com
会　長　齋藤　明
幹　事　加藤　健治

第 2523 例会 2018 年 9 月 20 日

9 月は基本的教育と識字率向上月間

本日のプログラム

点　鐘

ロータリーソング　　それでこそロータリー
　　四つのテスト

会長挨拶
出席・スマイル報告
委員会報告
幹事報告
IGM（Ｂグループ）報告

卓話者紹介　会員増強委員会　中島竹壽君
卓話　東濃信用金庫　理事
　　とうしん地域活力研究所　所長
　　伊藤光昭様

点　鐘

卓話者のご紹介

伊藤光昭様

昭和 58 年 4 月	入庫
平成 17 年 4 月	江南支店　支店長
平成 20 年 1 月	八田支店　支店長
平成 22 年 6 月	旭ヶ丘支店　支店長
平成 25 年 1 月	瑞浪商工会議所出向
平成 28 年 1 月	100 周年プロジェクトチーム　部長
平成 28 年 6 月	常勤理事
平成 29 年 6 月	とうしん地域活力研究所　所長

他クラブ例会変更のお知らせ

多治見リバーサイド　RC　→　9 月 25 日（火）
　　移動例会　オースタット国際ホテル 12:45

着信書類

・多治見少年少女合唱団とシニアコン
　第 45 回　定期演奏会の案内
　2018 年 10 月 21 日（日）　15：00 開演
　可児市文化創造センターala 宇宙のホール

来週の予定（9 月 27 日）
お祝い例会　　オースタット国際ホテル

先週の記録

●出席報告

会員数 34 名　出席免除者 6 名　出席義務者 28 名

出席者	欠席者	出席率
19 名	12 名	67.85%

●スマイル報告

投函者 15 名　金額 18,000 円

委員会報告

職業奉仕委員会委員長　佐藤八郎君

四つのテストは、どのようにして生まれたのでしょうか？　という説明を改めてされました。

ロータリーの友ですばらしい文章に出会いました。「ロータリーを知っている人は、ロータリーを好きな人にはかなわない。ロータリーを好きな人は、ロータリーを楽しむ人にはかなわない。」と素敵なお言葉も頂きました。

先週の卓話

石垣智康 パストガバナー

「これからのロータリークラブ」

① クラブは何を目的とするかが明確になっているか

クラブの原点は、職業奉仕。職業を通して社会に役立っていけるか。言葉だけで飾ってもクラブは発展していかない。

② ロータリークラブは人や企業のつながりを大切にするところである

③ 日本の元気なクラブの紹介

北海道滝川市は人口 41000 人、滝川 RC 会員数 94 名　平均年齢 61 歳。奉仕もやる親睦もやる。何故会員が増えるのか、何故ロータリーが盛んなのかを調査し参考にするべきである。

④ 会員増強

１クラブ 40 人が理想。それを下回ると財政難になる。クラブの評判を高める事により達成する方法が正道ではあるがそれでは間に合わない。公共イメージを高める事や、新しい職業分類の発掘などをし、会員の増強を目指していく。

⑤ 新しい職業奉仕

職業的なスキルを奉仕活動という形で社会のニーズに提供していくという目的が加わりました。公共イメージを高めることによって、会員の増強も目指していける。職業奉仕の実践を考えるにあたり、「自ら行う職業奉仕」と「クラブの職業奉仕」の２つに分けて考える。

⑥ ロータリー財団の意義

⑦ クラブの外にあるもの、見えるもの

地区委員会を経験してみる。得られるものは、ロータリー活動の幅の広さと真の親睦を理解し、支援活動を体験、交友関係と見聞の広がりをもてる。

職業奉仕委員会がなくなり、社会奉仕委員会の一部となる。　日本の職業奉仕は、ロータリーにどのような貢献をしたかを世界に発信していくべきであり、そのような努力をしていくべきである。

IGM（Ｂグループ）報告リーダー　加藤真左子

9 月 13 日（木）午後 6 時　「牛旨」

出席者　加藤真左子　柘植途始江　佐藤八郎
今井義郎　伊藤義弘　古田徳夫
大岩順子　齋藤明　山下智久　加藤健治

今回の IGM はテーマをひとつに絞らなかったので、様々な意見が出た。例会に出席する目的は何か、例会が待ち遠しく思えるか、出席して良かったと感じるか、などなどあったが、例会は親睦と自己研鑽の場であって、それぞれの目的は違うが意識は同じではないか、となった。元々のテーマであった「4 つのテスト」については、英語では分かりにくい、あまり深く考えていないので、今後努力するという意見や俳句みたいで分かりやすい、呪文のように唱えるだけだが、いつも心の中にあって何らかの場面では思い出し問いただすことがある、となった。4 つのテストを言い換えれば、嘘を言わない、誰にも不公平のないように、人に対して敵意と憎悪を招かないように、全体のために働き誰かの不利にならないように、となり、日々の暮らしの中で常に心掛けることが必要ではないだろうか。また、今回のテーマについて次のような意見もあった。そもそも IGM とは Fire-Side Meeting つまり家庭集会、炉端会合であり、もっと気楽にやるべきであるから堅苦しいテーマは設けるべきではない、今回は如何なものか、と。様々な意見があり、有意義な場であった事は嬉しい限りである。焼肉屋さんでの会合は珍しいが、まさしく炉端会合であった事は間違いない！